



平成28年7月29日

各位

上場会社名 NSユナイテッド海運株式会社
 代表者 代表取締役社長 小島 徹
 (コード番号 9110)
 問合せ先責任者 企画グループリーダー 阿諏訪 直樹
 (TEL 03-6895-6411)

業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年4月28日に公表した業績予想ならびに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	62,000	1,300	600	600	2.54
今回修正予想(B)	57,000	1,700	0	200	0.85
増減額(B-A)	△5,000	400	△600	△400	
増減率(%)	△8.1	30.8	△100.0	△66.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	72,366	3,837	3,099	2,593	11.13

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	128,000	5,200	3,600	3,500	14.85
今回修正予想(B)	120,000	5,200	2,600	3,000	12.73
増減額(B-A)	△8,000	0	△1,000	△500	
増減率(%)	△6.3	0.0	△27.8	△14.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	137,148	6,475	4,064	4,110	17.54

(注1) 上述の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

修正の理由

円ドル為替相場については今年6月以降の円高基調が今後も続くものと見込まれる一方、ドライバルク運賃市況は、第2四半期については当初の想定どおり船腹過剰による市況低迷が続くものと見込んでいます。また第3四半期以降も不透明な状況です。

上述の事業環境見通しの下、本日別途発表した第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成28年4月28日付で公表した平成29年3月期第2四半期累計期間および平成29年3月期通期の連結業績予想を上述の通り修正いたします。

なお第2四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率を105円(期初前提比5円高)へと見直し、燃料油価格は期初前提と変わらず内地C重油価格トン当たり280ドルのままとしています。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成28年4月28日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成28年3月期)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注1) 上述の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の配当額は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

(注2) 当社は定款において第2四半期末および期末日を配当基準日と定めています。

修正の理由

当社は年間配当性向を「連結業績ベースの概ね25%」としており、中間配当額につきましては上期の業績ならびに下期業績見込の見直し等を考慮して判断することとしています。

前述の「業績予想の修正について」にてご説明した通り上期業績は厳しい状況が見込まれ、ドライバルク運賃市況をはじめとする事業環境は今後も不透明感が強いことから、第2四半期末配当については無配とするとともに、期末配当については前回予想と同じく未定といたします。

以上